

1

# 「効果的な『見出し』で 読み手を引きつけよう！」

～新聞記事の構成を理解した「読ませる」工夫を考える～

1

2

## ワークショップの進め方

- ① 新聞記事の構成を確かめる
- ② 記事の例文を使い、「見出し」づくりを体験する
  - グループ 記事の内容を確認
  - 個人 「見出し」を考案
  - グループ 検討して1つの「見出し」を決める
- ③ 各グループの「見出し」を発表する
- ④ ワークショップのまとめ

2

## 新聞記事の構成

### 学校での古紙回収スタート！

十月二十五日、鈴木小学校の昇降口に、水色の古紙回収ボックスが設置されました。鈴木小学校では、二学期から環境委員会によるリサイクル活動がスタートしました。

古紙回収は毎週火曜日と木曜日の二回行われます。第一回目の回収日には、家庭から、新聞や雑誌など古紙を持って登校し、古紙回収ボックスに入れていく姿を見ることができました。リサイクル活動に参加した環境委員の田中さんは「クラスや学校全体に古紙リサイクル活動を広めてたくさんの方が協力してくれるといいなと思います。」と話してくれました。

古紙回収ボックスがいっぱいになったら、リサイクル業者に回収してもらう予定です。



## 記事の例文

今年の運動会は、わずか六点差で赤組が優勝し、連勝を果たしました。結果が発表されたとき、赤組からは大歓声が上がりました。点差が表す通り、赤組・白組ともがんばった運動会となりました。開会式の後、早速競技が始まり、五年生の徒競走がスタートしました。赤組も白組もゴールを目指して一生懸命走りました。

午前最後の競技は玉入れで、一年生九十名が汗を流しました。一対一の同点で迎えた三回戦、白組はできるだけかごの近くで投げるようにみんなで声をかけ合っていました。その結果、五十二対四十八で白組が勝ち、バンザイの大きな声がグラウンド中に響きました。白組の鈴木さんは「たくさん入ったからうれしい。」と笑顔いっぱいでした。

午後の競技では、低学年のダンス、中学年ソーラン節、高学年の組体操、そして学級対抗リレーと続き、どれも見応えのある紅白の熱戦が繰り広げられました。

みんなで力を合わせて最後までがんばった、悔いのない運動会となったようです。

